

多様な働き方の紹介

Case-1. 職員の紹介



総務局
経営企画チーム
主任
渡邊 沙弥香

時期	所属	職名	仕事内容
平成26年度～	病院事業局県立病院課	主事	病院職員の採用など
平成30年度～	(株) みずほ銀行産業調査部 (民間派遣)	主事	企業の財務戦略構築支援など
令和2年度～	総務局経営企画チーム	主任	施策マネジメントの推進など

広島県庁を志望した理由は？

就職活動を始めたときは、人のためになる仕事をしたいという気持ちはありましたが、具体的に何をしたいのかが見つからず悩んでいました。そんな時、広島県庁で働くことができれば、様々な分野において「県民のためになる」仕事ができるのではないかと思います。志望しました。

これまでの仕事で1番印象に残っていることは？

2年間、みずほ銀行産業調査部に派遣となり、企業の財務分析や投資の費用対効果のシミュレーション等に関わらせていただきました。一見、行政の仕事には役に立たないように思えるのですが、限られた予算の中で、多様なニーズに応えるためには、投資効果を最大化することが求められ、行政分野こそ経営的視点を持って施策を進めていく必要があるということを実感することができ、強く印象に残っています。

県職員として働く魅力は？

県職員の仕事は、防災や福祉、税や教育など県民生活に直結する仕事以外にも、県のブランド戦略、観光、起業支援、平和推進などありとあらゆる分野に及んでいます。仕事の対象となる方（顧客）も、県民・県内企業だけでなく、国や市町、他の都道府県・企業、時には海外に及ぶこともあります。様々な経験や人との出会いを通じて、自分の可能性を広げることができ、多様な組織・人と連携し、これからの広島県を描いていくことができるのも県職員として働く魅力だと思います。

Case-2. 職員の紹介（民間企業経験者）



地域政策局
公共交通政策課
主査
柴田 益良

時期	所属	職名	仕事内容
平成23年度～	商工労働局観光課	主事	観光プロモーション「おいしい!広島県」、魅力ある観光地づくりなど
平成26年度～	商工労働局 商工労働総務課	主任	産業振興・雇用対策に関する企画立案、局内予算の総合調整など
平成28年度～	一橋大学大学院 商学研究科（派遣）	主任	経営学修士（MBA）取得
平成30年度～	総務局 経営企画チーム	主査	総合計画の策定、組織編成など
令和3年度～	地域政策局 公共交通政策課	主査	持続可能な交通政策の推進、「広島県地域公共交通ビジョン」の策定

広島県庁を志望した理由は？

新聞でたまたま目にした第1回の「社会人経験者採用」に興味を持ち、応募しました。多様なバックグラウンドを持つ職員同士が、国や市町、企業や地域住民と協働しながら、未来の広島をつくっていく仕事に魅力を感じたのが、県庁を志望した理由です。

前職での経験がどのように活かされていますか？

前職は銀行系のリース会社で営業の仕事をしていました。顧客が置かれている状況を踏まえた上で、win-winとなるような提案を考える中で培った交渉力は、現在でも県庁内外のあらゆる現場で活かされています。また、前職で取得した簿記の知識は、事業の収益構造をクリアにしてくれるため、県の施策を設計する場面で、自分の武器の一つになっていると感じています。前職で育ててもらった分、それを少しでも広島県全体に還元できるよう、日々の仕事に取り組んでいます。

県職員として働く魅力は？

県職員として働く魅力は、様々な関係者と連携しながら、多様でスケールの大きな仕事に携わることができる点です。スペシャリストとして自身の専門性を織り込みながら案件を動かしていくことも、ゼネラリストとして多角的な視点を政策に落とし込むこともできます。また、そうしたキャリア形成を後押ししてくれる人事制度や各種研修も充実しているので、働きながらスキルアップしたい方にはピッタリの職場です。広島県庁で未来の広島と一緒につくっていきましょう！